社団法人十日町青年会議所

VOICE～響かせよう、声を～

山つつじ

Vol. 5

2013年（平成25年） 12月1日発行

～ 新たな　旅立ち ～

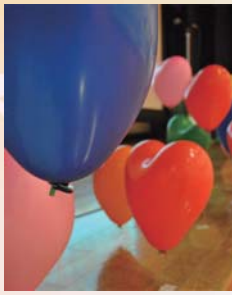
OMOIYARI発表会&音楽会 練習風景

真剣に合唱と手話に取り組む子ども達です。頑張っている子ども達をみているだけで感動して涙が。。。

UN MDGs授業風景

United Nations Millennium Development Goals

９月、10月と十日町市、津南町の小学校21校の４年生、５年生、６年生を対象に授業を行ないました。その中から数名の子ども達が11月３日のＯＭＯＩＹＡＲＩ発表会＆音楽会に参加してくれました。



未来へ響かせよう！ わたしたちの おもいやり

OMOIYARI

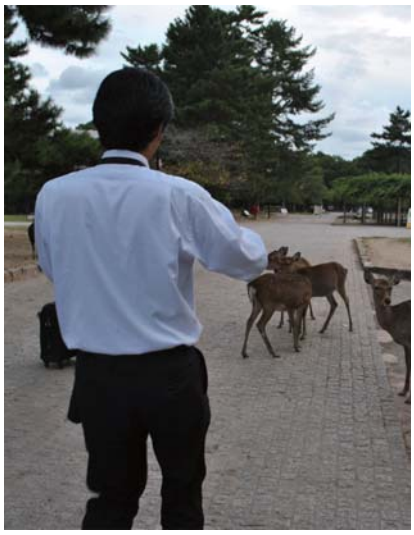
世界を幸せにする魔法。 藤田恵美さんといっしょに歌おう！

発表会＆音楽会

11月3日（祝）十日町地域地場産業振興センター大ホール

今回の事業は「思いやりの心」の大切さを改めて考えていただく為に、９月から各小学校にてＵＮ ＭＤＧｓ認知向上プログラムを行い、そして今回のＯＭＯＩＹＡＲＩ発表会＆音楽会において市民にも「思いやりの心」を考えていただきたく行いました。当日は子ども達と共にプログラムの紹介とプログラムを受けた児童の作文発表を行い、今の日本の生活が恵まれていること、世界ではこの生活が当たり前では無いことを来場者に感じていただきました。また、その後のル・クプルの藤田恵美さんが全国各地で行っている「ＯＭＯＩＹＡＲＩ音楽会」では参加児童にも手話入りの大合唱をしていただきました。しっかり練習してきてくれて素晴らしいステージとなりました。来場者からも好評価をいただいております。今回の事業に関わったすべての方に感謝しております。ありがとうございました。

社会開発委員長　俵山　忠之



第62回全国大会 奈良大会

古都奈良の地において、第62回全国大会奈良大会が10月3日～6日にかけて開催され今年度は卒業生7名を含む総勢18名で行って来ました。

大会式典・卒業式は世界遺産でもある東大寺大仏殿前で執り行われ、お盆と正月のみしか開かない観相窓から大仏様のお顔を見ることができました。式典は物故会員の法要から始まり、厳粛の中、小畑会頭から鈴木次年度会頭予定者へプレジデンシャルリースの引継ぎ、次年度全国大会開催地松山青年会議所へ大会キーの伝達が行なわれました。

式典終了後には卒業式が行なわれました。TーBOLANのライブもあり、大盛り上がりの卒業式でした。

卒業生座談会

卒業生
憲志幸一祐剛暁之雄樹
大島正貴正浩英
阿部瓶山雲田
二村南山中林寛
宮内弥
服部和
春川正
小野塚和則
上村吉徳
大嶋由紀子

理事長
涌井紀秀
司会者
藤ノ木和人

2013年11月8日（金）
モダン食堂KICHI

司会者　まず、最初に思い出に残っている事業や出来事はありますか。また、辛かったこと、苦しかったことはありますか。それでは一番JC歴の長い村山卒業生から順番にお願いします。

村山　沢山ありますが、自分が委員長をした時の100%例会が思い出に残っていますし、辛かったですね。この辛かった部分もあり達成したから良かったという部分もあって起承転結が1年間の中であった事業でした。この100%例会をやって何になるのだと自らの委員会メンバーから声が上がってきて、それも大先輩から。でも、その当時はやってみなければ解らないとしか言えなかったので、やってみてからあーだこーだ言ってくださいとまで言ってしまったのです。委員会メンバーが一丸となれなかったのが辛かったし、例会の日まで毎日が辛かったですね。胃も痛むし、救急車で運ばれることもあったし。あとは皆さんを信じて例会が出来たのが良かったのかな。

山田　いろいろありますが、自分が専務をさせてもらった時の事業と、理事長をさせてもらった時の事業が非常に思い出深くて、専務の時に100km徒歩の旅、市民討議会、公開討論会と、当時の理事長がグイグイと引っ張っていくタイプでいろいろと印象に残っています。理事長させてもらった時の55周年事業は、涌井理事長から委員長をしてもらいましたが節目に理事長をさせてもらったというのが一番印象に残っています。あと、自分のライフワークでもある信濃川事業もわがままを言ってさせてもらったのも思い出深いです。長野県の伊那食品さんに企業訪問に行ったり、自分がこのような事業をやりたいと思った事を理事長の時に実現できたのも非常に思い出に残っていることです。そうそう、MATSURI（05MATSURI委員会）もありましたね。正直、辛さというか苦しさは皆さんあると思いますが、自分の持論でたぶん会社をやっている辛さ苦しさより勝る辛さと苦しさというのは多分無いと思っているので、どれも辛いし苦しかったかもしれませんが、達成感の方が非常に大きかったのが正直話ですね。

南雲　やっぱり、自分が委員長をしている時の事業とか出来事っていうのが一番思い出に残っていますね。その時はやっていて楽しい。目的があってやりたいことがあってというのが楽しいし、辛かった事も、やりがいの方が上回ったからあの時はできたのかと、若かったんだなと自分は思います。

中林　自分が委員長をやったときも思い出に残っているのですが、自分の中では入会2年目で涌井理事長が委員長の時に副委員長をやらせてもらって、その時、いろいろ勉強をさせてもらいました。期間の長い事業で3ヶ月くらいかけたのかな。高校生達と毎週からませてもらって（笑）、JCの委員会運営の仕方だとか、先輩達への接し方だとかを当時の涌井委員長の姿を見て勉強になりました。その後に、今日はこの場にはいませんが二瓶くんは失敗してもいいからやらせろと言う、俺は失敗させたくなかったので一生懸命高校生に向かって言ったりしていて、二瓶くんと言い合いになったりと良い経験をさせてもらいました。入会2年目の青少年委員会の1年は思い出に残っています。辛かったことというのはあまりありませんね。細かいことを言えばありますけれど、本当に思いつめて自分が委員長になったとき、事業をやるというのが不安でしょうがないというのが苦しかったかな。

小野塚　総務の委員長をやったときもそうですが、JCに入って一番思い出に残っているのは100km徒歩の旅のことで（笑）当時のオリエンテーション委員会の委員長をされていた高橋豪先輩と口論したことが一番の思い出です。当時の委員長にあれこれ言うのであれば「まずやれ！」と。やらなければ言う資格は無いと言われたので、そこから翌年の総務委員長をやりましたね。そんな感じかな。苦しかったこと、辛かったというのは事業でなくて、委員長をやりながらの仕事との両立。俺は自営業で1人なので、人を動かすという事は基本的に無いので、JCで将来社長になるクラスの人間をどう動かして良いのか解りませんでしたね。

大嶋　思い出に残っている事業はやはり今年度の雪まつりの事業ですね。自分の中で1日くらいだと思いますがそれ以外は、ほぼ毎日短時間でも出席できた事と、みんなと一緒に同じ釜のめしを食べるという経験はなかなか無いことでした。みんなで協力しあって同じものを食べ、同じ思いに向かっていくという経験をさせてもらいました。あの何も無いまっさら状態から雪まつりのステージが出来あがって行く課程、出来上がったあとの感動が一番の思い出です。辛かったこと、苦しかったことはそれほど無いのですが・・・（とあるメンバーの名前が、笑）途中で男だったら良かったなと一瞬思いましたね。男だったらもっと出来たかなとか、そのように思った事はありました。でも、女性としてこのJCに関わらせてもらうのが目標だったので、男だったら私ならこうやってとか考えたことは正直ありました。

阿部　出来事的な面でJCに入会してすぐに雪まつりがあって、その時に何と言っても作業が終ったあとプレハブで10時まで慰労会で飲んで、10時から3件はしごしたのを一週間雪まつり期間中に続けていました。入会当初の頃はそれに度肝を抜かれましたね。凄いなと。酒も当時はかなり飲みましたし、体力的にも自信があったのにも関わらず出鼻を挫かれましたね。

司会者　なるほど。それでは辛かったこと苦しかったことについてお聞きしますが、今のお話も辛かったと思いますが。

阿部　辛かった苦しかったというのは2006年度に初めて委員長をさせてもらって、当時、根津茂樹先輩から頼まれたのですが、本当に震災の翌年で自分の会社の受注量が200%くらいと半端無い状況でできないと思っていたのにも関わらず、みんなに囲まれてどうしてもやれという状況で、やったのは良いが当時はかけたはしごを外すというのが流行っていて、上に上がるためにはしごをかけてくれるのだが、上がったら最後に外されるんだよということを身にしみて感じた1年でしたね。まあ、皆さんからも協力はしてもらいましたが、それが一番苦しかったでしょうかね。それと、議案のフォーマットが変わった年で、今まではA4の紙に雪まつりでも2～3枚程度。常設委員会でもA4が1枚。多くても2枚くらいでたりていたのだが、前年度までの資料を見せられてこれなら出来るなと思って向かったのだが、フォーマットが変えられて尚且つ初委員長なのに6つ事業ぽいのがあり、それを全部やり遂げる事ができずに2つくらい投げちゃったという苦しい思いでもあります。一番やりたかった中核事業もほぼ受け答えが出来ずそこで線を引いた感じで、この1年というのは毛の抜けた1年であったね。

服部　思い出に残っている事業というのは雪ま

卒業生座談会2013

つりですよね。毎年毎年何かしらあって良い事業だなとおもいますね。あとは、安倍晋三さんが来て講演会でSPをやらせてもらったのも思い出には残っていますけどね。

司会者　それでは辛かったこと苦しかったことについてはどうでしょうか。

服部　それは今年ですよね。先ほどの阿部卒業生の話ではないですが、こんなにもやることがあるのかと思う位あって、だからさっきの言葉にもなったのですが、やはり委員長はやるべきで、やってみないと解らないし、今まではそんなの解らなかったしね。今年は辛いです。

上村　思い出に残っている事業は、わんぱく相撲ですね。唯一関わられたことかな。

司会者　それでは辛かったこと苦しかったことを教えてください。

上村　なかなか事業や例会に参加できなかったりしたことかな。

二瓶　雪まつりのコミュニティ広場です。辛いことは特にありません。

宮内　委員長を2回やらせていただきましたが、人集めに苦労しました。それが今となっては良い思い出となっています。辛かったのは初委員長の時、理事会で叩かれどうして良いか、わからなくて悩んだ時です。苦しかったのは埼玉からJCのために通勤していたこと。

春川　2009年でオリエンテーション委員会の副委員長の時、不本意な怪我をしてしまい、委員長や周りのメンバーに迷惑を掛けてしまったことが一番思いでに残っています。

司会者　今、お聞きすると委員長をされたときのことが思い出でもあり、辛かったことのようです。ありがとうございました。それでは続きましてJC活動において出会った人で凄いと思った人はいますか。その方のどの部分が凄いと思いましたか。

大嶋　困りますね～この質問は。

南雲　やはり○○くん？（笑）

大嶋　名前だよね。何人か言っていい。今年ラストで1年間、涌井理事長に惚れなければやって来れなかったと思います。1年目はほんとに何も解らない中でやって来て、当時の委員長である藤橋武康先輩に癒され、守ってあげなきゃいけないという感じで。また、長井くんが当時、女性は私と佐藤良子先輩と二人だけだったので気遣ってくれましたね。

涌井　藤橋武康先輩に母性を擽られた感じだね。

南雲　凄い人というといっぱいいらっしゃいますが、O先輩ですかね。あれだけ自分で目標、目的を作って突っ走ってやっちゃう人は凄いなと思いますね。あの、強い意志をもってやっているというのは凄いと思いましたね。

小野塚　1人は田川貴弘先輩ですね。この方が居なかったら三年でJCを辞めていましたね。もう1人は、先ほども話をしましたが高橋豪先輩ですね。あともう1人は小山大志くんですね。あそこまでJCにかけながら仕事もやりつつあれだけできるというのは凄いと思います。

山田　私も沢山いらっしゃいますが、澤野崇先輩は尊敬する1人ですし、その時の日本の会頭である安里繁信さんは強烈でその方に会って生き方というのを自分の理事長所信にも入れた経緯でもありますし今でも尊敬しています。あと、私が仕事とか、生きてきた中でこの人凄いなと思って励みにやって来たのは明治大学の斉藤孝教授と長野県にある伊那食品工業の塚越会長ですが、その方々に会いたくて所信を考えた訳ではないのですが、結果的に理事長の時に会えたという事で思い出深いのもあります。

中林　凄い人は先輩では多くいらっしゃいますのでこの人とは言えませんが、その中でも児玉義昭先輩は尊敬しています。同じLOMでは無いですが雪国JCの井口司先輩は見てくれや勢いだけで人を動かすイメージがあるのですが、入会2年目で始めて出向した時に一緒に出向しまして、麻生太郎さんが居たのですが、その事をLOMに帰っては話さないといけないということで、帰りの新幹線で隣同士だったのですがその時に撮影したビデオをずーっと観ていまして再生しては巻き戻して何度も観てまとめていた姿がイメージとは違って、人前でしゃべるということで勉強しているのが凄いと思いました。

村山　小野塚くんも言いましたが、先輩の一言があって今の自分があるのは入会したときに、ほんの一言ですがそれがあったおかげで今の自分がここまで来れたというのもあります。あと、出会った人で凄いというのはJCメンバー全員ですね。それぞれ、良いとこ、悪いとこを持って自分には無いものを人は持っていますし、この人だというのは無いのですね。その中で活動できたのが一番の宝物のようになっています。亡くなってしまったのですが同級生に斉木貴光がいまして彼は優しいのですね。誰に対しても本当に優しく相手の身になって考えてくれて絶対に怒らない人でした。彼は野球もやっていたのですが、その中では怒ることはありましたが、それ以外では一切怒った顔、怒った現場を私は見たことがありませんでした。彼が生きていれば違った十日町JCになっていたかなって今思えばそんな感じがします。誰がっていうことはなくみんなが凄いと思います。

阿部　誰が凄くて、誰が凄く無いというものさしで図るべきでは無いと思いますけれども、一番勉強になったというか、参考になったとか一事業者のスタンスでみると、昨年度、全国大会運営委員会に出向させてもらいまして、そこにいた議長と小幹事は凄い。この2名には勝てないと思うくらい凄い人達でしたね。小幹事は32、33歳くらい入会3年くらいで、メンバーが25人くらいいるのですが、来たメンバーについてきちんと目を配らせて見ているのです。会議で北九州まで行って帰ってくると同時くらいに全員にメールが入ります。会議に来れなかった人に対しても「今回来れなくて残念でした次回お待ちしております」と全員にコメントを出して、我々が家に着いてパソコンを開くまでに送るのです。これは並大抵では無いと、それもよく見ていて夜飲んでいるときの一言だとか、良いところを拾って送って来ます。このようなことはなかなか真似できない。これにはあまりにも感動して大島専務にも見せた事があるのですが、これは凄いなと、もの凄い気配りだということを思い出しましたのでお話しました。

服部　やっぱり、服部好位先輩ですね。1号、2号と言われただけ結構良くもしてもらいましたし、何て言うか自分では解からないと良く言うのですが、それなのに行動に説得力があるというか、その辺は凄いなと思いましたね。

上村　メンバーは凄いなと思いましたね。48年生まれ組はけっこういるけれど、その中でも深い中の人もいれば、関わりの少なかった人もいますが、いろいろな場面でいろいろなところを見ると、人それぞれ凄いなと尊敬できるところはありますね。

二瓶　凄いというよりも、自分との違いを発見することで考えさせられることが多々ありました。

宮内　歴代の理事長経験者の方々は各々人をひきつける魅力があり、凄いとおもいました。

春川　燕三条の長谷川直哉君です。事業の内外を問わず、対人間との関わりを大切にしていて、人として尊敬できる方でした。

司会者　皆さんありがとうございました。続きましてJC活動においてやり残した事はありますかということでお聞きします。それでは山田卒業生からお願いいたします。

山田　やり残したこと・・・それは、55周年の挨拶ですかね。

中林（笑）　それはやり直したいことじゃないの。

山田　基本的には自分は無いですね。細かいことを言えばきりがないのですが、正直やってよかった事ばかりですので特にありません。

中林　私もやり残したことでは無くて、やり直したいことですが。（笑）PR講演会（笑）この街には必要だと思ってやったことなんですが、PR講演会でPRが足りなかったという初歩的な事がありました。出来ることならもう1回やりたいと思います。細かいことを言えばいろいろありますけれども今頭の中にあるのはそれですね。

村山　事務局長ですね。本当は雪まつり委員長をしたかったのですね。庭野雄三先輩から話が来て、恐れ多くてできませんとお断りしたのですが、雪まつり委員長はやってみたかったですね。

阿部　職業がら通年の委員会を最後まで面倒を見るのは難しいのですが、委員長というのは何かもやってもいいものだと思っていまして、大島専務と良く話しをしたのですが、山菜とか地の物をやる委員会の山菜委員長をやってみたかったですね。（笑）山菜を採るとか、きのこを採るとか、たけのこを採るとか我々の年代ですと出来るのもいなくなっていて、これまた、子ども達に継承していかなければならないことで、我々も知識も無いですので勉強できるような委員会をやってみたかったですね。できなかったのでYEGでやろうと思っています。

司会者　今、お話を伺っていますとこのあとに質問しようと思っていました、やってみたい役職についてもお話を頂きました。やってみたい役職について山田卒業生にお聞きします。

山田　やってみたい役職。実は私は委員長を1回しかしてないのですね。あとは事務局長、専務、監事と多く普通の委員会に入ってなくて、村山監事が委員長をされた時の副委員長と自分が委員長をした時くらいなのですね。常設の委員長をやってみたかったですね。

中林　監事はやってみたかったと思いますけど、与えていただいた役職をやって来ましたが、監事はやってみたかったですね。

大嶋　委員長をやってみたかったです。生まれ変わってもJCに入って委員長をやりたいです。

南雲　やり残したと・・・（婚活という声が）それは卒業してから取り組むこととして。やり残したことは、いろいろな役を与えていただいたものですが、その年その年で役割をやり遂げることができたのかなと思うことはあります。生まれ変わってもJCには入るし、雪まつり委員長はやってみたい。子ども達の笑顔が見てみたいとそう思っています。（歴史問題はという声が）それは夏にやって、冬は雪まつりね。

小野塚　無いですね。あとに引っ張らないタイプなので。終ったことはしょうがない。やってみたい役職は理事で理事会では言いっぱなしがやりたいです。で、生まれ変わってもＪＣに入れる環境にいれば入ります。

司会者　生まれ変わってもＪＣに入りたいという事についてもお話しが出ました。山田卒業生は生まれ変わっても入りますか。

山田　そのような立場にいれば入りますね。

中林　入りません。（笑）

村山　わかりませんね。

阿部　ＪＣに関わらず声をかけられれば、ＹＥＧでもＪＣでも入ります。

村山　ＹＥＧが先だったね（笑）

服部　やり残したことはありますね。あえて言いませんが。

上村　先ほども話をしましたが、もう少し事業などに関われれば良かったかなと思いますね。

司会者　生まれ変わってもＪＣに入りたいですか。

服部　んー　ＪＣに入りたいかというと入りたいですね。ただ、その時の会社の状況にもよりますかね。

上村　環境を変えて関われる感じでやってみたいですね。

司会者　やってみたいと思う役職はありますか。生まれ変わって入ったときとして考えてもよいですが。

服部　んーそうだな。もう１回委員長をやってみたいですねえ。

上村　理事長さんも大変だと思うけど上の役職を目指したいですね。委員長になって企画もしたいですしね。

二瓶　やり残した事は特にありません。生まれ変わったら入会するか解りません。

宮内　仕事上無理でしたが、雪まつり委員長は１回やりたかったです。

春川　やり残したことはありません。委員長を経験できなかったので生まれ変わったら是非ＪＣに入ってやってみたいです。

司会者　ＪＣは三信条の修練、奉仕、友情ということで活動していますが、この中で、自分を振り返ってＪＣ三信条のどれが一番だったかについてお聞きします。それでは阿部卒業生からお願いします。

阿部　どれを一番と言うと難しいですが、何と言っても修練でしょうか。みんな事業所の代表として来ていますが、言い方は悪いかもしれませんが、お山の大将になっていると思います。それが、このような団体で親方だけ集めた中で、自分ばっかりが主張もできないし、みんなそれぞれ時間の配分も違うし、その中でいろんなことを成していくというところが大変でその部分が修練なんだと、みんな時間が平等じゃないので、その中でどれだけＪＣだけに割くという行為が本当に修練という訳ではないですが、時間を作るということは、入会当時からみると少し上手になれたかと思います。

村山　友情ですね。

中林　友情ですね。

山田　友情ですね。どれも大事なのですが、出向もさせてもらったり、役職をさせてもらっていろいろな方と友情を分かち合えたと思います。

小野塚　当然、友情は友情なのですが、この三つに中であげれば修練ですね。財政局長をやったときに同格の各委員長に言わないといけない厳しさが修練でしたね。

南雲　一番と言われても全部が一番ですね。何をやっても大変なことをやるのだからそれは修練になるし、やっていることは奉仕的な事業ですし、それに伴って仲間がいないと事業は出来ない。本当にありがたみを感じるのでどれも欠くことができないと思います。

大嶋　友情ですね。ＪＣという言葉だけで初めて会った人でも親しくなれ、先輩方もＪＣに所属していると言うことで気軽に話をさせていただいておりますので、友情かと思います。

服部　やはり友情ですかね。奉仕は全くなかったですね。逆に奉仕されたからね（笑）修練も自分では修練と思っていないからね。

上村　友情かな。これを機会にし知り合えた人もいるしね。

二瓶　バランスよくさせていただきました。

宮内　友情です。

春川　友情です。

司会者　お聞きすると友情という回答が多かったです。ＪＣで会った方は自分の財産となると思います。続きましてＪＣ活動において泣いた回数を教えてください。その中でもエピソードがあればお話しいただければと思います。それでは阿部卒業生からお願いいたします。

阿部　ＪＣで泣いたのは自分で解っているので１回ですかね。雪まつり委員長の時に壱番館で挨拶をしたときですね。あれは泣かないだろうと思っていたのですが思わず涙が止まらなくなったことですね。あとは泣くことは無かったですね。

南雲　「絶対に泣かないよ」って、泣かない宣言していたよね。

阿部　泣かない宣言しておいて、泣いて大泣きしていました（笑）

村山　自分は心で泣くことが多くて男泣きはしたこと無いですね。多分これは12月１日の卒業式で（笑）。泣きそうになったことはいくらでもあります。委員会メンバーの時に委員長の涙をみたりして。でも、男泣きをしたと言うことは無いのです。

山田　泣くようなキャラではないのですが、昨年の中林雪まつり委員長の雪まつりに最終理事会、卒業忘年パーティーで卒業生と握手をした時の３回だけだと記憶しております。もしかしたら他にもあるかもしれませんが３回だけですね。

南雲　何回泣いたか。いっぱい泣いているので数えきれません。

大嶋　星の数ほど？

南雲　出会いと別れの数だけ涙を流しています（笑）

中林　私も数えきれないくらい（笑）つい先日、俵山委員長の事業で子ども達の練習の際に、何も見ずに歌う場面があったのですが、子ども達が歌えていたことに感動して泣いたりしました。で、一番泣いたのが新潟ブロックの委員長をさせてもらった時、委員会の後の懇親会で他のＬＯＭメンバーがカラオケで歌った「日曜日からの使者」という歌があって、私が尊敬する中の１人である山田努先輩のテーマ曲であり、入会１年目の時にその曲で委員会を１年間やってきたみたいな感じがあって、その１年間が頭の中によぎってきて、他のＬＯＭの土地で他の人は何がなんだかわからかったと思いますが、ずーっと泣いていたのが一番ですね。

司会者　確かに子ども達が頑張って練習しているのには泣きそうになりました。（笑）

小野塚　今年以外は、対内向け委員会だったのでそこまで事業だけに出ても感動を得られる訳でもなく、泣いた事は１回もありません。卒業式までとっておきます。泣かせてもらいたい。

大嶋　悔し泣き１回、嬉し泣き１回、心の中で１回の全部で３回ですね。あとは卒業式で泣かせてもらいます。

服部　記憶だと２回ほどあります。

村山　それは肋骨を折られたとき。（笑）

服部　その時は泣いていない。（笑）あとは酔っ払った時に泣いていると思うので数知れずですね。男泣き・・２回ですね（笑）

上村　男は生涯で２回しか泣いちゃいかん。。。あれ、３回だっけ？男は泣かない！

司会者　それでは卒業式で泣いちゃいますか？

上村　そうだねぇ。泣きたいな。

二瓶　特にありません。

宮内　ありません。影ではメンバーに感謝して泣いたことがあったかも？

春川　泣いたことはありませんでした。

司会者　ありがとうございます。卒業生の皆さんはＪＣ活動もあと２ヶ月弱となりましたが、今だから話せるごめんなさいをお聞きしたいと思います。それでは大嶋卒業生からお願いいたします。

大嶋　１年ちょっと前に頭の手術をした時、山田卒業生が理事長でお見舞いに来てくださって感動したのですが、遠田くんと長井くんと藤橋武康先輩が、お見舞いに来てくれた時は、家族と万代で遊んでいてごめんなさい。（笑）

司会者　３人には会えなかったのですか。

大嶋　万代で合流しました。ごめんなさい。

小野塚　もっと自分が真面目にやっていればもっと早く公益法人格が取れたかと思います。それぐらいですかね。あとは暴言吐いてごめんなさい。（笑）

服部　一通り包隠さず話をしているのですが、中林副理事長と岡村くんに担がれて帰ったことですかね。（笑）あれが一番のごめんなさいですね。

中林　ホント、死んでいたよ。多分（笑）

※雪まつり期間中の作業疲れのため道路で寝てしまった。

服部　生かさしていただいてありがとうございます。（笑）

中林　いろいろあるのですが、今だからこそと言うと私は頼まれた役職については断ったことがなく、下の人たちには断るなと話をしているのですが、１回だけ断ったことがあって、それがごめんなさいですね。

南雲　本当に話せない、内容です。

中林　今でも言えない。

南雲　今でも言えない。そのうちにね。

司会者　12月１日の卒業式に何か話をしてくれると言うことですか。

南雲　乞うご期待。

小野塚　実は嫁がいたとか。

南雲　実は子どもがいましたとか。

山田　今だから言えるということは、忘れているからかもしれませんが、特に無いですね。

村山　特にないですね。（笑）

阿部　私も特にないのですが、平たいところで暴言、暴力行為!?（笑）めんどな委員会になりそうな時に、ついつい用事がいくつかあればＪＣを一番最後にしていたことかな。行きやすい所を選んでいましたね。ごめんなさい。

上村　いろいろあるからな。さっき事業にいけなかったっから悔しいというのもあったが、自分なりにできたのかなという部分ではごめんなさいかな。

卒業生座談会2013

二瓶　面倒くさくなるとすぐに飲みに行ったことです。

宮内　まだ卒業前なので言えません。

春川　雪まつり事業で酒を飲みすぎて、茶室から追い出されてしまってすみませんでした。

司会者　ありがとうございます。いろいろありましたね。言えない事。気になりますが、それでは次の質問です。卒業されたあとは、ぽっかりと時間が空くというお話を聞きます。卒業されたあとに取り組みたい事があればお話しください。

服部　卒業したからと言って取り組みたい事は特に無いのですが、日々の延長なので。属する団体は決まりましたのでそちらでも頑張りたいと思います。

山田　正直、自分が言った事は続けて行きたいし、川の事業は今でも続けていますし、今後もこの地の宝として発信していきたいなとは思っています。

中林　婚活とそれに伴うダイエットをしたいです。それと、先ほど三信条の話が出ましたが、自分の考えの中で奉仕というのは卒業してから出来ると思っていたので、なんらかの形で奉仕に繋がることはやりたいと考えています。

村山　私も一緒で奉仕ですね。良くJCにいる間でやれる人と、卒業してから奉仕活動をすると言う2パターンあると思いますが、私は後者で、何かしら地域のために何かしたいと言うこともありますし、卒業したらすぐに嫁孝行、子ども孝行をしないといけません。子どもも思春期に差し掛かってくる頃なので、しっかり支えてやらないと間違った方向に行ってしまいますので、そこは上手く子どもと接する時間を持ちたいなと思います。当然、嫁ともですが。

阿部　みんなJCが終ってぽかんと空くと言っておりますが、多分、誰も空かないと思います。JCばかりじゃなくて、消防団であったり、地域コミュニティの地区の青年会だとか、先日数えたら15団体に名前が載っており全部が全部に出れている訳ではなく、みんな中途半端になっています。都合の良い時だけ行って、面倒なときは行かない。もうちょっと満遍なく出られるように、空いている時間があれば地域のために尽力したいと言う気持ちでいっぱいです。

大嶋　私は保育士をしていたので、男性と仕事をしたり沢山囲まれる機会が無くて、JCの中で育てていただいたと思っております。市議会議員にさせていただいたのでそちらに専念したいと思います。

南雲　中林くんと同じでして、婚活と婚活ボディを手に入れるところからですね。（笑）1月1日0時0分00秒から活動を始めます。（笑）

小野塚　特に今は考えていることは無いのですが、やりたいなと思うことは子ども達のために何かをやりたいなと思いますね。うちの子どもも思春期になってきたので、両方ともサッカーをやっていますが、サッカーだけではなくて、うちの子と他の子も含めて十日町の子ども達を良くして、十日町の良さとかこれだと言うものを一緒に楽しんで行きたいという感じですかね。

上村　JCもそうですが、地元を盛り上げると言うか地域のために少しでも、JCで培った事を活かしながら地域貢献をしたいと思います。

二瓶　仕事と地域社会のために頑張ります。

宮内　継続して集まれる会を作って、今までできた仲間と交流をはかりたいです。

春川　十日町市を全国に知ってもらえる仕事をしていきたいです。

司会者　ありがとうございます。最後の質問です。現役メンバーへ一言お願いしたいと思います。

阿部　JCが目指している理想というのは明るい豊かな社会を築きあげようということなんでしょうが、これは正直、理想中の理想で現実はまず難しいと思います。みんながそう思えるという事はこの資本主義の中ではありえないので、そう言ったところを目標にしているのは結構なのですが、いろいろ現実も踏みしめながら、いろんな失敗もして、いろんな所から学んで、そう言ったところで自分のために1つでも蓄積できるようにしてほしいです。失敗から学ぶということでは、JCと言うのは最高に良いところだと思います。理想は理想。きちんと踏まえた上で、少しでも、1つでも自分のために積み上げられるものを持っていったもの勝ちなのかなと思っております。私も積み上げたものがいくつか有るのか、無いのか解りませんがそれを糧に頑張っていきたいと思います。

村山　沢山あるのですが、自分の居心地の良い環境を自分で作って、そこから枝分かれに友情だったり、奉仕だったり、修練を行なっていく。自分もそうだったのでそのようにやっていってもらったら良いのではないかと思っています。委員長をされる方は、良く失敗を恐れるなと言われます。みんな失敗をしない方向で動いているわけなのですが、最近の委員長を見ていると、失敗を恐れているという雰囲気を出しています。それだと良い事業もできませんし、当然メンバーも委員長を見ているので、着いていくことに首を傾げたりする場面もあったので、失敗を恐れずに頑張ってもらいたいなと思います。

山田　私は人の受け売りで格言を言ってましたけどそれは置いておいて、最近会社の中でも自分で思っているのが役職で人を説得させるということは結構あるのかなと思います。うちの社員は納得してやっているのかなと最近気になることがあって、説得って強く言って話し込めば、仕方ないからやるかという場合もあるけれども納得をしてやっているかどうかと言われるとわかりません。ここで自分への戒めもあるのですが人を納得させることができるようなメンバーになればすばらしい組織になるのではないかと思っております。

南雲　解らない事があったら解る人に聞いてください。解らない人同士でやっていって実はダメで怒られるよりも、報連相を緻密にやっていく小さい失敗で怒られた時は、すぐに軌道修正ができます。黙ってこれでいいのかなとやっていっていると、気がついた時には大きく曲がって怒られるので、やはり、解らないことがあったら素直に先輩なり、詳しい人に聞いてもらうというのが良いと思います。JCの人はみんなが優しいから聞けば教えてくれるから。でも、聞かなければ教えてくれませんので。

中林　私は、もう少し他人を見て物事をやってほしいと思います。人の目を気にするのではなくて、例えば理事長は今何をしているのとか、監事が何してるだとか、上のほうでいけばそうですが、新入会員は何してるだとか、人の行動をよく見てもらいたいです。また、人が作った物、資料とかを参考にしてもらって、自分から他の人がやっていることを見るという事を一生懸命やってほしいかなと思います。

服部　現役メンバーへということですが、私も今年初委員長をやらせてもらって卒業してしまいます。今までは委員長をやったことが無かったから、やらされている感というのが非常にあって、現役のみなさんも、是非、委員長以上は経験してもらいたい。それも早い段階で。先ほどの山田直前理事長の話にもかぶるのですが、やってみないと下の人間に自分から言えないのですね。社長になるとそうなんでしょうが、いろんな事をやって自分が経験して初めて下の人間に言えるのかなと思っています。是非、役職を受けた人は、積極的に参加してもらいたいなと思います。

小野塚　先ほどの南雲くんの話とは逆になるかもしれませんが、特に委員長をやる方にはもっと知る努力をしてくださいということです。人に聞いて答えをだすのではなくて、自分でとことん知る努力をしてそれでも解らなかったら聞く。そうじゃないと何でも聞いて流されるだけなので聞く努力。学ぶ努力それを委員会メンバーが見ていれば伝わります。説明するときも自分が解らないと説明できないので、もっと知る努力をしてもらいたいと思います。

大嶋　まず、理事長に恋をしてもらいたいと思います。理事長の思いをみんなで達成するので、理事長に恋をして、それと委員長を支えるために委員長に恋をしてほしいなと思います。1年間は絶対にふらないということで頑張ってほしいと思います。あと、私が卒業すると女性メンバーが3人になりますが、女性メンバーが増えてもらいたいと思っています。それで、十日町JCのメンバーは奥手なのか話かけてきてくれない。仕方なく私はいっぱいしゃべっている訳なのです。なので、席も女性の隣に座らないのではなくて、同士なのだから気軽に話しかけてもらいたいと思います。

上村　私から言えたことではないですが、JCは凄い組織です。十日町にもいろいろな組織がありますが、JCは自己犠牲をはらってでも地域を良くするための組織だと思うので、是非、継続させて頑張っていってもらえればと思います。

二瓶　出来得るならば卒業まで在籍した方がいいんじゃないかなと思います。あとは、自分の周囲の状況が許せば役職を受けた方が楽しいです。

宮内　JCは卒業してから本当の意味で「ありがたい」「入って良かった」と感謝する時が来ると教わりました。仕事であったり、いろいろな会であったり。JCの三信条、修練、奉仕、友情、今考えるととても重要なことだと思います。同じ釜の飯を食べながら作業したり、遅くまで会議をしたり、お互い時間がない中で、苦労しながら1つのことをやり遂げる。結果いつまでも忘れられない友情が芽生えるのだと思います。現役の皆さんは仕事、家庭、JCと両立は大変だと思いますが、今しかできないことがあります。せっかくJCに入会したのであれば、積極的に参加し、表面上ではない良き仲間を増やしていっていただきたいと思います。長い間お世話になりました。

春川　自分がもてる全ての知識・英知・仲間をフルに生かして十日町を盛り上げていってください。

司会者　みなさん長い間ありがとうございました。以上で卒業生座談会を終了します。

１０月担当例会

Ｔｈｉｓ　ｉｓ　ＪＣ　～会員の意識変革による組織の成長～
2013年10月2日（水）　エコマール　青年部研修室にて

先般行われた10月担当例会では「Ｔｈｉｓ　ｉｓ　ＪＣ　～会員の意識変革による組織の成長～」と題して、日本ＪＣ公認プログラムである「ＶＭＶ」をメンバーの小山大志君がトレーナーとなって行いました。過去にもＶＭＶ等のセミナーは開催してきましたが、ここ数年は行っていませんでした。入会３年未満のメンバーが会員数の1／3以上を占めている当ＬＯＭにとって「ＪＣの歴史や目的・使命・価値」を学ぶことは、今後の我々十日町ＪＣにとって大変重要な事だと考え行いました。当日は入会の浅いメンバーのみならず、参加したメンバーから学びや再認識をしてもらいました。皆さん、これからもＪＡＹＣＥＥとしての「誇り」と「自信」を持ってＪＣ運動を行っていきましょう。

事務局長　長谷川吉徳

１１月担当例会

2012年問題の解決へ向けて考えよう
2013年11月1日（金）　エコマール　青年部研修室にて

指導力開発委員会11月担当例会「2012年問題の解消へ向けて考えよう」はいかがでしたでしょうか。指導力開発委員会としての事業はこれで終わりですが、団塊の世代の大量退職は2012年から始まり、2014年まで続きます。また、自分の会社では問題が無くても、仕入先や取引先が団塊の世代の退職により変化が起きる可能性もあります。そんな時は今回のことを思い出してください。役に立つかもしれません。

これからは私たちの時代が始まります。いかなる変化が起きようと私たちは問題の打開をしなければなりません。そのためには個人を成長させることが必要です。会社の発展・地域の発展のために、これからも頑張りましょう。

指導力開発委員会　服部和雄

２０１３市民討議会

2013年10月20日（日）
千手中央コミュニティセンター　千年の森ホールにて

今回で５回目となる市民討議会は「盛り上げようホワイトミュージアム」をテーマに、十日町市内各地にある雪まつりをどう連携させるのかを飯山市、松之山、中里、下条、上野の各雪まつりイベントを担う代表者から情報提供をしてもらいまして、無作為に抽出した市民2,000人の中から参加を申し出のあった19名の方と討議を行ないました。各テーブルでは雪まつりという身近なテーマであった為、活発な意見交換ができいろいろな角度からの連携方法が出ておりました。また、当委員会からもテーブルの進行役として参加させていただきまして、普段では経験できない事を勉強させてもらいました。

社会開発委員会　副委員長　野上知幸

十日町ＪＣ交流ゴルフコンペ

2013年10月26日（土）
ベルナティオゴルフコースにて

４名のＯＢの方からも参加いただきまして総勢18名で（社）十日町青年会議所交流ゴルフコンペを10月26日(土)ベルナティオにて開催いたしました。当日はあいにくの小雨模様で肌寒中でしたが、紅葉の季節ともあり周りの木々は赤や黄色に染められておりました。ご参加いただいた皆さんから十分に楽しんでいただけたかと思います。
ゴルフの後は表彰式並びに懇親会を割烹やまだ屋さんで行わせていただきました。
結果につきましては下記のとおりでございます。

優　勝	吉田　之人	先輩
準優勝	馬場　大和	君
第３位	佐藤　幸治	君

ＮＢＣ会長杯バスケットボール大会

2013年11月17日（日）
上越市三和体育館にて

スポーツの秋、上越市三和体育館にてＮＢＣ会長杯バスケットボール大会が開催されました。大会は本格的なルールで行なうＮＢＣリーグトーナメントに８チーム、遊びの延長線上の昼休みの体育館リーグに８チームの二部構成。十日町ＪＣはＮＢＣリーグトーナメントに参加、第１試合に強豪の新潟ＪＣと激突。前半戦は点が取れず辛い戦いとなったが、後半戦はチームが一つになり追い上げるも惜しくも勝利を逃しました。
８月から宮内弥之監督、松田和彦キャプテンを中心に毎週木曜日練習を重ねてきました。日頃の運動不足解消とストレス発散？ができたかと思います。大会に参加されたメンバーのみなさんお疲れ様でした。

一般社団法人新発田青年会議所 55周年記念式典&祝賀会

10月27日(日)
月岡温泉ニューホテル冠月

第2回ブロックコンファレンス

会員拡大率（会員数30名以上60名以下の部）第1位

10月19日(土)
柏崎市産業文化会館

2013年度 賛助会員の皆様

株式会社アイムス
株式会社イイキ
株式会社魚沼
有限会社エグゼ（サバス）
有限会社小川電機商会
角屋株式会社
株式会社クリエート・きもの絹都
清津開発株式会社
株式会社児玉建設
サトウ接骨院
ジブラルタ生命保険株式会社十日町支部
たかきや
株式会社滝沢印刷
有限会社千歳館（ひなの宿　ちとせ）
一般社団法人十日町市観光協会
十日町砂利株式会社
株式会社富澤塗装店
庭又板金店
司法書士葉葺利男事務所
株式会社富剛建設
有限会社丸池工務店
株式会社丸山工務所
宮沢建設株式会社
株式会社村山商会
吉沢織物株式会社
プロダクション　リド
株式会社朝日堂
井川建設株式会社
魚沼整染株式会社
株式会社大熊工業
株式会社生越土建
有限会社きさらぎ
株式会社共立舗装
株式会社小泉工業
株式会社小宮山
株式会社三髙土木
信越スペースシステム株式会社
株式会社髙橋クリーニング店
田順アート
千原株式会社
十日町金融団
株式会社十日町新聞社
株式会社トリムコーポレーション
株式会社根津電設
焼肉　ひゃら
有限会社マキエ保険サービス
丸松工具株式会社十日町店
株式会社美佐伝
株式会社村熊商店
心の宿やすらぎ
株式会社吉田商会
有限会社若山総合保険サービス
株式会社当間高原リゾート
株式会社池田組
有限会社エーデルワイス工芸社
大村建設株式会社
有限会社加久田工業
株式会社吉楽土建
有限会社協和電業
こじま寿し
有限会社サクセスプラン
サンタ・クリエイト
株式会社関芳
高橋昇男税理士事務所
タナベ防災株式会社
株式会社中央印刷所山内商店
十日町社会保険労務協会
十日町総合保険センター
株式会社中山建工
有限会社花せん
株式会社福島砂利丸福生コン
株式会社松乃井酒造場
株式会社まるやま
株式会社ミナミ商会川治給油所
株式会社村山興業
株式会社山田屋商店
株式会社ラポート十日町

五十音順

ー　編　集　後　記　ー

本年度卒業される１３名のメンバーの皆様、ご卒業おめでとうございます。ＪＣでの思い出も数々あるかと思いますが、このＪＣでの活動が未来に生きることを心より楽しみにしています。

山つつじも２０１３年度最終号となりますが、涌井理事長を始めとするメンバーの皆様のご支援、ご協力大変感謝しています。私も広報に携われた事で勉強になり、今後の活動に生かすだけでなく、お世話になった方々に還元できるようにして行きたいと思います。１年間大変ありがとうございました。

総務広報委員会　副委員長　石澤芳信

社団法人十日町青年会議所　広報誌 山つつじ

発　行／社団法人十日町青年会議所
題　字／涌井紀秀
編　集／総務広報委員会
編集長／石澤芳信
事務局／〒948-0088
新潟県十日町市泉17番地
十日町商工会議所内
電話番号　025-757-5111
ＦＡＸ番号　025-752-7332

ホームページ
http://www.tokamachijc.com/

Facebookページ
https://www.facebook.com/tokamachijc

E-MAIL tokamachijc@waltz.ocn.ne.jp